農業委員会だより

ひこね

2018.3.1
第47号

獣害対策グレーチングにかかる柵設置作業について

副会長　田中　金二

荒神山周辺に15年ほど前からイノシシが出没するようになり、近年、その被害が多発するようになりました。当農業委員会では獣害対策検討委員会を立ち上げ、定期的に検討委員会を開催しながら、先進地にも赴き研修等を重ねてきました。

本市に対する意見要望として荒神山林道の下岡部町地先に獣害対策グレーチングの設置をお願いし、この度、平成28年2月にグレーチングの設置が完了しました。このグレーチングは人や自動車等は通行可能ですが、獣には警戒心が働き横断を躊躇（ちゅうちょ）させる効果があるものです。

当農業委員会では更に効果を高められるよう、既設のワイヤーメッシュ防護柵と獣害対策の側溝との隙間にワイヤーメッシュ柵の追加設置を市農林水産課と農業委員全員でおこないました。当日は寒い日でしたが、農業委員で作業工具を持ち寄り柵設置に取り組みました。

獣害対策には終りがありません。地道な活動を継続しておこなう必要があると考えています。

会長挨拶

彦根市農業委員会
会長
田口　源太郎

平素は、農業委員会の活動にご協力とご支援をいただきありがとうございます。

今年30年は、農家にとって大きな転換期を迎えます。その内容は、米価格の補てんとして交付されてきました米の直接払いの7,500円が廃止されます。また、生産調整（転作）については国が主食米の生産量を提示してきましたが、今後は農業団体・農家が判断することとなりました。このことから主食米の増産を決めた都道府県もあります。農家にとっては、今後も厳しい状況が続くと考えられます。

集落では、高齢の農家さんが「機械が傷んだら即リタイヤする」と言っているのをよく耳にします。また、「将来、農地を誰が守るの」、「集落の農業組合の担い手がいない」などの声が多くの集落で聞かれます。

私たち農業委員・農地利用最適化推進委員は、地域の担い手に農地が活用されるよう、農地等の利用の最適化（担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）のため、市内を3ブロックに分け、地域の活動を進めていきます。さらに、農地の現状と2～3年後にはどのようにするのかを話し合う場を提供していただき、地域の農地所有者や耕作者の方々と話し合いをしていきたいと考えています。集落の皆さんのご協力をお願いいたします。

六次産業で『ムスヒ』のココロ届けていただきます

農業委員　西川　末美

これぞ「農」の原点と思えるような活動をされている甘呂町の『米・StyleShop ムスヒ』～むすひグリーンファーム直売所＆加工所～（代、大野 勝美さん）を紹介します。

店舗は、市立城陽小学校から南へ約４００ｍです。

『ムスヒ』とは、結び、産霊（むすひ）と同じ言葉で縁や心をつなぐという意、万物を産み育てるという神秘的な力を表しているそうです。「むすび」に「お」を付けた「おむすび」は人（母）の手で愛情込めて握った光の塊のようなもの。食べた人（子）のお腹も心も満たして元気で笑顔にする力があるようです。家族の方が育てられた環境こだわり米、野菜や果物に心を結びいろいろなものを手作りされています。中でも「米粉」にしてパン、ケーキミックスやおやつなど、また玄米グラノーラや炒り玄米として身体をいたわり将来ある子供たちのいのちを育む食品に力を注いでおられます。

このように大野さんに店舗のコンセプトお聞きしていると、お二人のお子さんの笑顔が見えるようで、「お母さんをされているなあ」と私まで嬉しくなりました。若い大野さんの取り組みに、「農」に関わらせていただく一人として応援させていただければと考えました。

(左)代表:大野勝美さん　(右)父:近藤章さん〈認定農業者〉

児島　甚雄氏
元彦根市農業委員会会長
秋の叙勲　旭日単光章

児島甚雄氏は「平成29年秋の叙勲」において、「農業振興功労」で「旭日単光章」を受章されました。

平成5年7月に農業委員に就任以来、平成23年7月までの6期18年の長きにわたり在職され、また、この間、平成14年から平成23年の3期9年間にわたり本市農業委員会会長として農業振興に尽くされた功績が評価されたものです。

このような活動のご尽力に敬意を表し、今回の受章を、心からお喜び申しあげます。

彦根市農業委員会が新体制になりました

平成29年7月20日に彦根市長から農業委員19名が任命を受け、また、農業委員会が新たに設けられた農地利用最適化推進委員27名を委嘱し、彦根市農業委員会が新しい体制になりました。

農業委員会は、これまでの許認可業務だけでなく、「農地等の利用の最適化の推進」（担い手への農地の集積、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）が必須業務に位置付けられ、その役割が強化されました。この業務に取り組む体制を強化するため、推進委員は担当区域における農地等の利用の最適化に関する現場活動を行います。加えて、市域を3つのブロック（南部・中部・北部）に分け、各ブロックを中心に農業委員と推進委員が連携して現場活動も行います。

また、農業委員会では、「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を策定し、指針に基づいて活動を行うとともに、活動を通じて農地等の利用の最適化の推進に関する施策について改善の提案を行っていきます。今後は、農業委員会のホームページ等を通して農業委員会の活動をより一層周知して参ります。

なお、農業委員・推進委員の担当区域は、ホームページにも記載しています。

国が支える　安心の終身年金

農業者年金

保険料は全額社会保険料控除で大きな節税効果

条件を満たす担い手には月額最大1万円の保険料補助

農地の名義がない配偶者・後継者も加入できます

詳しい内容やご相談については…
彦根市農業委員会またはJA東びわこ各支店にお問い合わせください。

農家の思いを伝え
農業・農村の「未来」を
ともに考えます。

☆発行日　毎週金曜日（月4回）
☆購読料　1ヶ月700円(税込)
☆申込先　彦根市農業委員会
【TEL】30-6133

全国農業新聞
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

農業委員会の活動報告

6月24日 農村女性の茶話会を開催しました

昨年6月24日に開催されました「第2回農村女性の茶話会」に（農）つづらファームから参加させていただきました。湖国女性農業・推進委員協議会の池田喜久子会長のあいさつに始まり、講師の同協議会の西田えつこ副会長から自分の経験を踏まえた今日までの活動報告がありました。話をお聞きして、大きな励みになるとともに若い人たちにバトンタッチができるような実績を残したいと思いました。また、スコップ三味線の演奏もあり、手作りされたお菓子をいただきながら楽しいひと時を過ごさせていただきました。

一昨年、開催されました第1回の茶話会に彦根市の山根副市長さんが初めてお見えになりました。その時、（農）つづらファームからお茶うけに出した「かりかり豆」をたいへん気に入っていただきました。その御縁で、後日、山根副市長さんと（農）つづらファームとで懇談会を開催し、「応援するから頑張ってね。」とのお言葉をいただきました。

また、私は平成29年7月20日から農業委員に任命されました。農業委員は農地を守り、担い手を育てるお手伝いをすることが仕事ですが、これからも女性の目線で頑張っていきたいと思います。

（農業委員　茶木　洋子）

7月20日 初総会を開催しました

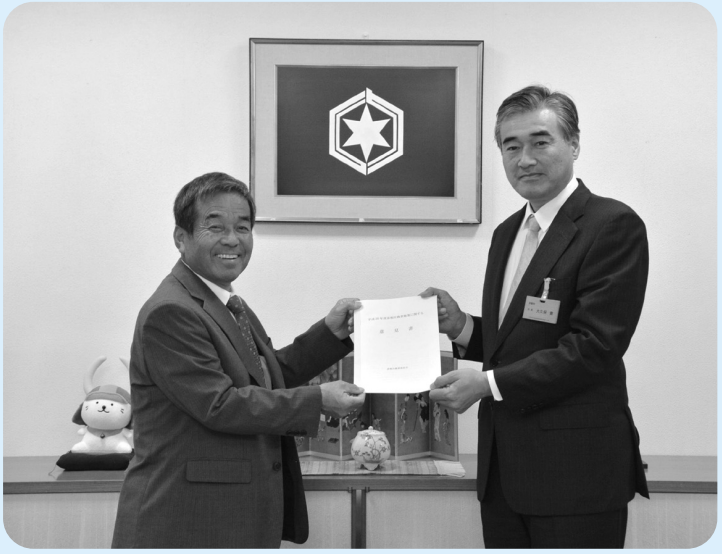
昨年の改選より農業委員は選挙で選ぶ公選制から市長の任命制へと制度が変わりました。定員数も33名から19名と減員され、一人一人の役割が重要になり緊張の面持ちでの任命式でした。新しい体制の下、「農地利用最適化推進委員」の委嘱も行われ、28名の推進委員が誕生し、彦根市農業委員会としては総勢47名の大所帯となりました。

このような体制のなか、私は犬上川以北地域（Ｃブロック）のブロック長に選任され戸惑っています。

今後、各検討委員会や地域活動に農業委員・推進委員の皆さんと情報交換し連携しながら、各地域の課題解決に向けて取組みを進めていきたいと思います。

（農業委員　松宮　秀治）

11月1日 市長へ意見書を提出しました



昨年11月1日、彦根市農業委員会は、本市の活力ある農業振興を目指し、平成30年度の予算編成に向けた「彦根市農業施策に関する意見書」を彦根市長へ提出しました。

市長へ意見は、

・担い手の育成・確保について
・遊休農地解消対策について
・特色ある地域農業の創造について
・鳥獣被害対策について　など

8項目にわたります。

また、市議会議長と教育長へ意見書の概要を報告し、施策への反映を要請しました。

農業委員会は、農業者の代表機関として、今後も農業者の声を行政に届ける取り組みを積極的に行ってまいります。

なお、意見書については彦根市ホームページでも紹介しています。

12月18日 先進地視察研修を実施しました

先進地視察研修のため、事務局を始め農業委員と推進委員の39名の参加のもと雪景色を見ながら福井市へと向かいました。

まず、「ファームビレッジさんさん」の安実社長のお話を聞くことができました。印象に残ったのは、「身上不二」という言葉があるように地域で採れたものを地域で消費することが健康な食生活の基本であるという力強い言葉をいただきました。

次に、福井市農業委員会のお話を聞くことができました。同市では「平地と中山間地が混在しており、中山間地では農業者の高齢化や後継者・担い手不足といった問題が多く、耕作放棄地の発生が進んでいる」とのことでした。彦根市についても問題点は福井市とあまり変わりなく、鳥獣害の被害もあるとお聞きしました。

今後、農業委員会では、担い手への集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消などが必要不可欠であり、「農業委員と推進委員」の連携を密にして取り組んでいかなければならないと感じました。

（推進委員　疋田　誠一）

幻の「彦根りんご」の復活

彦根りんごを復活する会
事務局　尾本　正和

彦根りんごとは、平安時代に中国から渡来し、江戸時代には九州から北海道まで栽培されていた和りんごの一種です。文化13年（1816年）藩士石居泰次郎氏が金5両を借金し、200本の苗木を買い、りんご園を開いたと記されています（旧彦根西高校辺り）。

しかし、昭和30年代には虫害等で絶滅していました。

復活する会の活動は、平成15年6月に30名で立ち上げ、全国の和りんごの調査から始まりました。石川・長野・岩手・青森他の実を持ち帰り、昔食べていた方々に聴いたり史述（しじつ）や絵なども参考に加賀藩の木を選び「平成の彦根りんご」としてオーナー制で育てることにしました。

栽培（接木・消毒・剪定）等は、毎年5月と9月に和りんご仲間を訪ねて指導を受け、3年毎の計画を立て育てていきました。毎年桜が散った後、4月中旬に花が咲き、8月中旬に収穫し、会員の方々には「お供えセット」として届けています。

イベントは、毎年春に花見会・夏に収穫祭・社寺への献上等を行い、特に昨年は7月21日に200余名の参加を得て「彦根りんご復活200年祭」を開催し、また、全国11ヶ所の仲間が一同に集う「第二回和りんごサミット」も開催出来ました。

今後の活動は、復活は遂げたので「彦根りんご保存会」を芹川公園で子ども達の収穫祭を継続し、西今農園では「日本和りんごの会」として、和りんごの普及・商品化で地域交流や活性に関わろうと思っています。

◇彦根りんご園（西今町141）
　約330坪　80本
◇芹川りんご園（中薮町）
　約300坪　25本
◇会員数　合計108名
　（正38名・賛助12名・TH※58名）

※「彦根りんご復活200年祭」時の会員

AI技術で新規就農のチャンス

農業委員　青山　直樹

魅力ある農業ですが、農業従事者の平均年齢が65歳を超えようとしております。お米の需要も毎年約8万トン減少し、数年で大量離農時代と危惧されております。

農作業は身体を動かすことで健康や体力の維持・向上、地域の皆さんとの交流、子どもたちは田んぼの土や生き物と接しながら自然からいのちの大切さを学び、生きる力を身につけます。私たちは農作業から多くの恵みを受けています。

たいへんな仕事と思われる農作業が、AI技術で楽しい農業になる時代がすぐそこまで来ています。夜でも稼働する無人トラクター、水の管理では水温や水位を計測して最適な水位に自動調整するシステム、稲の葉の色や背丈の生育状態を監視するシステムやピンポイントの肥料散布など、経験と勘での農作業が大きく変わろうとしています。皆さんと知恵と工夫を出し合い、魅力あるAI農業を推進していきましょう。

また、彦根市でも若手農業者が頑張っておられます。新規就農のチャンスは開かれていますので、ホームページ「笑顔 ひこね 農業」で検索してみてください。魅力満載のページになっています。

彦根市農業委員会の使命も社会の営みの基本である『食』を与える農地を守り活かすことです。

健康維持や地域との繋がりを農作業を通して、多くの方が農業の魅力を共有していただく時代の到来だと感じています。

【写真】彦根市農業人育成プロジェクト実行委員会（http://agrist.city.hikone.lg.jp/）

【参考文献】窪田新之助「日本初ロボットAI農業　凄い未来」（講談社）

平成30年度農地賃借料情報提供について

農地法第52条の規定に基づき、次のとおり農地賃借料情報の提供を行います。

平成29年1月から平成29年12月までに市内で締結（公告）された田の賃借料を集計し、その平均額を算出したものです。この「農地賃借料情報」は、法的な拘束力はなく、あくまで賃借料を決定する際の参考資料です。

実際の賃借料の契約に際しては、貸し手・借り手の両者でよく協議したうえで、締結してください。

（10aあたり）

区　分		平 均 額	最 高 額	最 低 額	データ数	過去3年間の平均額(データ数)
整備田	稲枝地域	9，１００円	１０，８００円	5，０００円	３０１	9，５００円 (2,049)
整備田	河瀬･亀山･城陽地域	6，９００円	１０，５００円	3，０００円	１１５	7，８００円 (563)
未整備田		3，２００円	5，０００円	1，５００円	１００	2，９００円 (403)
(参考)市内全域		7，５００円	１０，８００円	1，５００円		

1．標準的な水準を算出するため、全賃借料データの平均値±70％を超えるもの及び賃借料以外の要素が含まれているデータは除いています。なお、無料での貸借（使用貸借）についても、集計の際に除外されています。

2．平均額は、算出結果を100円未満四捨五入としています。

3．**今年度から各地域の整備田を集計して平均額を算出しています。未整備田は別に集計して平均額を算出しています。また、参考のため過去3年間の平均額とデータ数、市内全域の平均額・最高額・最低額も併せて情報提供します。**

平成29年の許認可件数など

平成29年に会議を行い、毎月農業委員会で審議を行った許可等の実績は下記のとおりです。

・農地の所有権移転・権利の設定の許可
19件　3.16ha

・自己所有地の転用
46件　1.91ha

・所有権の移転を伴う転用
147件　16.72ha

・基盤強化法による利用権の設定
973件　152.60ha

・中間管理機構による利用権の設定
96件　12.21ha

「女性が参画しやすい農業環境づくり」に取り組みましょう

彦根市では、「性別にかかわりなく 多様な生き方が認められ 一人ひとりが輝いて生きられるまち ひこね」の実現に取り組んでいます。

農業においても、地産地消や6次産業化に向けて女性グループが活動されており、女性ならではの視点で取り組まれている各グループの活動は、もはや今後の地域農業の発展には欠かせない存在になっています。

全国の農業委員会においても、多数の女性農業委員（彦根市4名）および女性推進委員が活躍されています。

是非、農業における女性活動の場として、農業委員会や地域農業組織、地域での話し合いの場などに参画しましょう。

農業委員会だより ひこね 第47号
（平成30年3月1日発行）
◆発行・編集◆ 〒522-8501 彦根市元町4番2号 彦根市農業委員会
電話：0749-30-6133 FAX：0749-24-9676
ホームページhttp://www.city.hikone.shiga.jp/

「グリーンピアひこね」を利用して毎日の生活をいきいきと！

「グリーンピアひこね」。名前は聞いたことはあっても、「どのような施設なんだろう？」と思われる方もいるのではないでしょうか。

施設の正式名称は「彦根市農村環境改善センター」といいます。多目的ホール、集会室、調理実習室等を有し、農業・農村の活性化のため、有効かつ機能的に活用されるようにと平成4年にオープンしました。今日ではバトミントンをはじめ、ヨガ、書道、華道など、さまざまなサークル活動に利用されています。

また、グリーンピアでは、通年の自主講座として、アグリ料理教室、園芸教室、菊講座を開講しており、それぞれの受講者が楽しみながら活動しています。日頃の研鑽の成果を地域の皆さんに発表する場として、10月には教室・講座発表展示会を開催しました。会場には、園芸教室受講者が作った寄せ植えや菊講座受講者が育てた菊のほか、華道や書道など施設利用サークルの方々の力作が展示されました。さらには、アグリ料理教室受講者が調理した菓子、地元産の野菜や米を使った加工品等の販売や、フラワーアレンジメント体験教室も行われました。

また、食育体験活動の一環として6月・7月に梅干しづくり教室や1月にみそづくり教室を開催しています。

今後も、各講座の募集などは広報ひこね等でお知らせして参りますので、是非ともご参加ください。

今後も地域の皆さんに身近なグリーンピアを目指していきます。どうぞご利用下さい。

編集後記

寒さ厳しい時季も終り、梅・桃の花が咲きつつ、次は果樹を作る大勢に樹木は力を入れています。

最近の農業は若者の農作業離れで、田や畑は耕作放棄や荒地が多くなり、私たち委員・農業者や市民の皆さんが目を配り、彦根の農業を維持・推進していかねばなりません。

今後とも、農業者や市民の多くの皆さんに「農業委員会だより」を読んでいただき、農業委員会の活動や取り組みなどについて知っていただければ幸いです。

最後になりましたが、編集にご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。

（農業委員　田中　粂次郎）

しシピ紹介 「里芋のそぼろあんかけ」

【材料（4人分）】

里　芋…12個
※1 だし汁…カップ1杯
　　砂　糖…大さじ1杯
　　醤　油…大さじ2杯
ひき肉…150g
※2 砂　糖…大さじ1杯
　　醤　油…大さじ2杯
片栗粉…大さじ1杯
ゆず皮…少々

【作り方】

① 里芋の皮をむいて適当に切る。
② ※1を入れて火にかける。沸騰したところへ里芋を入れ、火を弱めて柔らかくなるまで煮含める。
③ ひき肉を空炒りして肉の色が変わったら※2を入れ炒りつける。
④ 片栗粉の水溶きを②に加えてとろみをつける。
⑤ ④に③のそぼろあんをかける。
⑥ ゆずの皮を千切りにして乗せる。また、すりおろし汁をかけても良い。